

青森で生きる未来人財育成事業(高校生地域活動促進事業) オンライン講座

配信期間:令和7年6月~令和8年2月 受講者60名

第1講座

【テーマ】『ボランティア』ってなんだろう？

【講師】 日本赤十字社青森県支部 主事 岩井 雄太郎 氏

【経歴】

2019年から日本赤十字社青森県支部において、救急法講習や災害対応、青少年赤十字に関する業務に従事し、その中でも、青少年赤十字事業では、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、様々な活動を学校教育の中で展開している。日本赤十字社は、「人道」を理念に、国際救護・開発協力、災害救護、安全講習会普及、青少年赤十字活動、ボランティア活動、国際人道法普及など、様々な活動を行っている団体である。

【講義要旨】

- ボランティア活動とは、自発的な意志に基づき、他人や社会に貢献する行為です。活動の性格として、自主性（主体性）や社会性（連帯性）、無償性（無給性）があげられます。
- 日本赤十字社の活動は多様ですが、主に国内災害救護、国際活動、医療事業、看護師養成、青少年赤十字、講習普及、血液事業、赤十字ボランティア、社会福祉の9つの活動があります。
- ボランティアを实践するうえで、相手のニーズ（需要）を考え、本当に必要としているものを提供することが大切です。「相手のニーズに気づく」「ニーズの達成のために必要なことを考える」「考えた計画を实践する」の3つのサイクルで取り組むことが必要です。



第2講座

【テーマ】「ボランティア活動の実際」

【講師】 弘前大学人文社会科学部 教授

弘前大学地域創生本部ボランティアセンター長 李 永俊 氏

【経歴】

労働経済学を専門とし、青森県を中心とした地方の雇用問題、若年者の就業状況、地域間移動等の研究に取り組んでいる。東日本大震災の発生後は、教員有志と一緒に弘前大学ボランティアセンターを設立し、弘前市と協働で岩手県野田村への支援・交流活動を展開。また、2018年から学習支援、子ども食堂、フードバンク等の活動を開始し、現在は一般社団法人みらいねっと弘前と連携して子ども居場所づくり、持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

【講義要旨】

- 「チーム・オール弘前」は、弘前大学、弘前市、弘前市民、市民団体等、弘前が一丸となったボランティアチームで、災害への備えに加え、貧困や少子高齢化、人口減少等の地域課題を地域全体の力で解決していくことを目指し、活動しています。
- 自然災害のリスクを減らすことは不可能だが、復興の経験や教訓を生かし、災害から自分・家族・地域をどう守るか考えることが重要です。
- ボランティア活動は、自分の人生をより豊かにするとともに、安心・安全で豊かなまちづくりに貢献するものです。

